

PASSION  
FOR THE  
BEST

2016/12/21 インターネットライブセミナー  
**株式物色戦略**

～長期政権のゴールデン・イヤーを  
彩る銘柄群は何か～

2016年12月

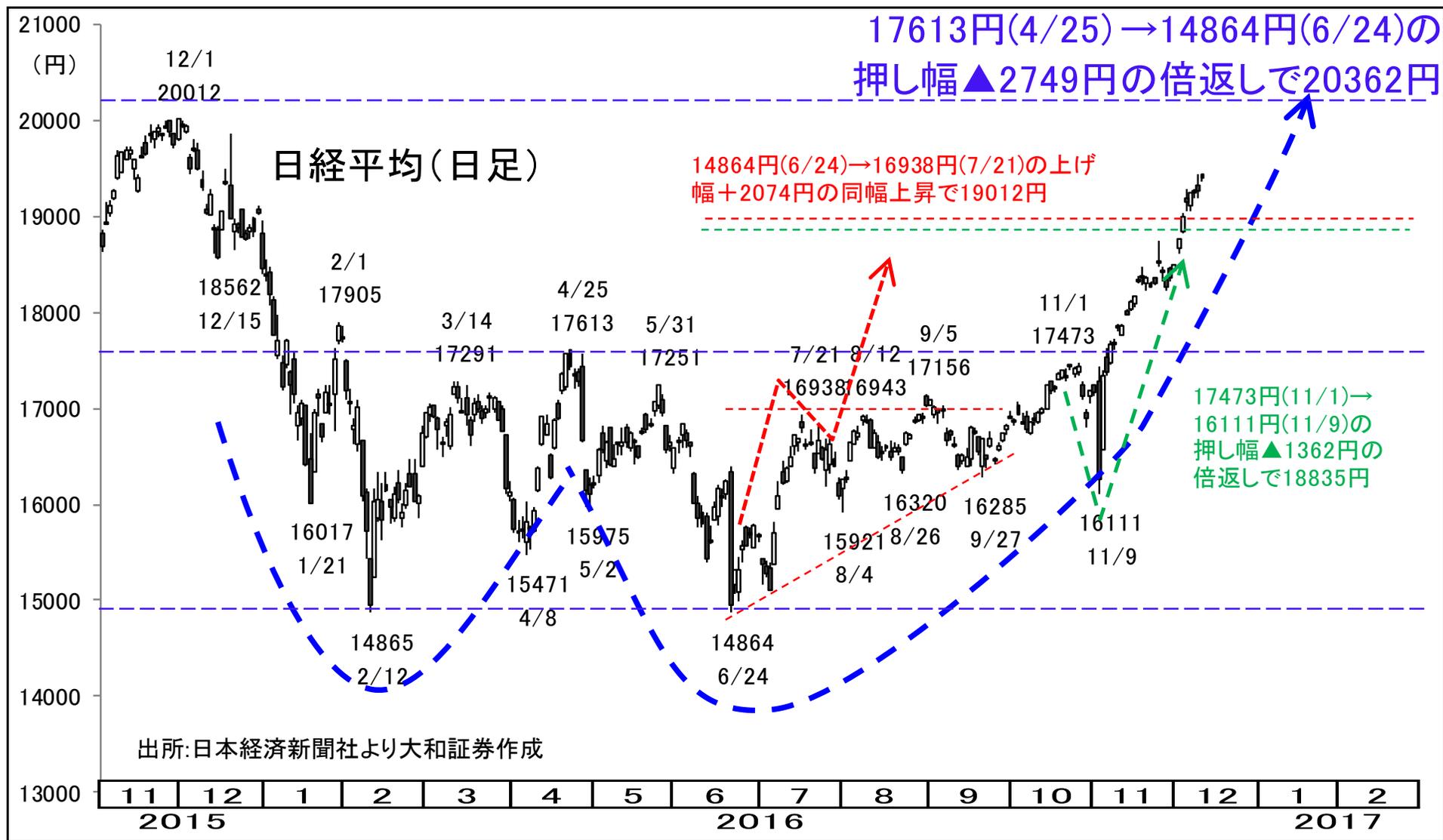
佐藤 光

**大和証券**

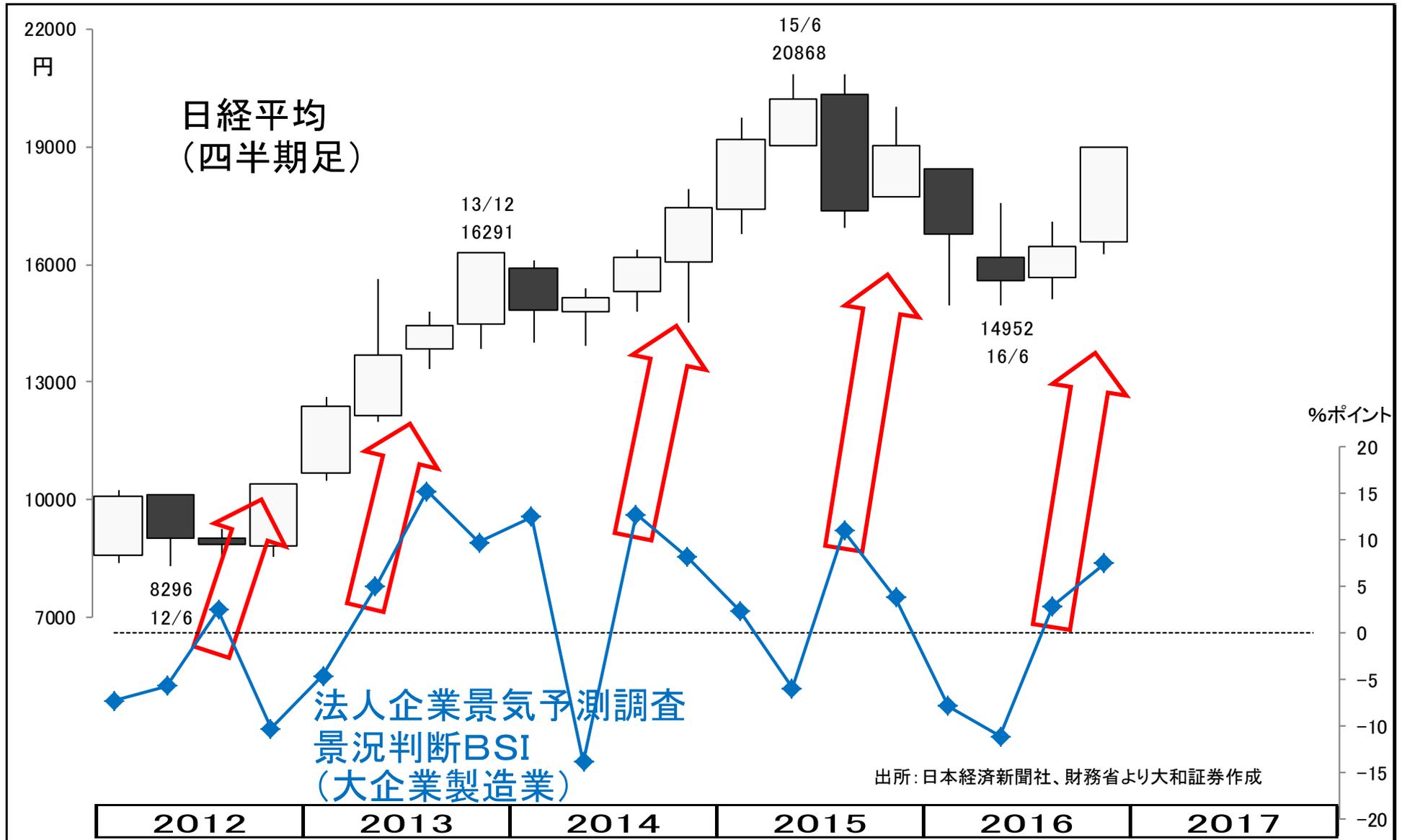
Daiwa Securities

この資料は、ミーティング等における投資情報の提供活動に際し補助的資料として作成したもので、投資勧誘を意図するものではありません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。ご利用に際しては、末尾の開示事項の記載もご覧ください。なお、資料中の図表は作成時点の社名が作成者になっていることがありますが、ご了承ください。

# 相場見通し編:ダブルボトム完成、上値計測値は20300円水準



# 景況判断BSIの改善は、来年1-3月期の株価堅調を示唆



# 日銀ETF購入が下支えに。トランプ政策の勝ち組は日本？

## 株式年間最大買い越し金額ランキング

No.	暦年	最大の買い越し 主体と金額(兆円)	日経平均 前年差(円)	6兆円当たり の上昇幅
1	2013年	外国人 15.1	5896	2340
2	2005年	外国人 10.3	4623	2687
3	1999年	外国人 9.1	5092	3347
4	2003年	外国人 8.2	2098	1532
5	2004年	外国人 7.7	812	637
6	1991年	外国人 5.6	-865	-923
7	2006年	外国人 5.5	1114	1209
8	2007年	外国人 5.4	-1918	-2122
9	1994年	外国人 4.1	2306	3364
10	2008年	金融法人 3.9	-6448	-9811

データベースの都合で1991年以降の二市場(2012年以前は三市場)一二部等合計。ETFはほぼ東証一部銘柄で構成されており、ETF購入の比較対象としては上表データは過大。一方、日銀は別途0.3兆円/年の株式を売却し、実際は5.7兆円の買い越しに。出所: 東京証券取引所、日本経済新聞より大和証券作成。

## トランプ政策を織り込んだ経済見通し

	2016		2017		2018
World	2.9	(0.0)	3.3	(+0.1)	3.6
United States	1.5	(+0.1)	2.3	(+0.2)	3.0
Euro zone	1.7	(+0.2)	1.6	(+0.2)	1.7
Germany	1.7	(-0.1)	1.7	(+0.2)	1.7
France	1.2	(-0.1)	1.3	(0.0)	1.6
Italy	0.8	(0.0)	0.9	(+0.1)	1.0
Britain	2.0	(+0.2)	1.2	(+0.2)	1.0
Japan	0.8	(+0.2)	1.0	(+0.3)	0.8
Canada	1.2	(0.0)	2.1	(0.0)	2.3
China	6.7	(+0.2)	6.4	(+0.2)	6.1
India	7.4	(0.0)	7.6	(+0.1)	7.7
Brazil	-3.4	(-0.1)	0.0	(+0.3)	1.2

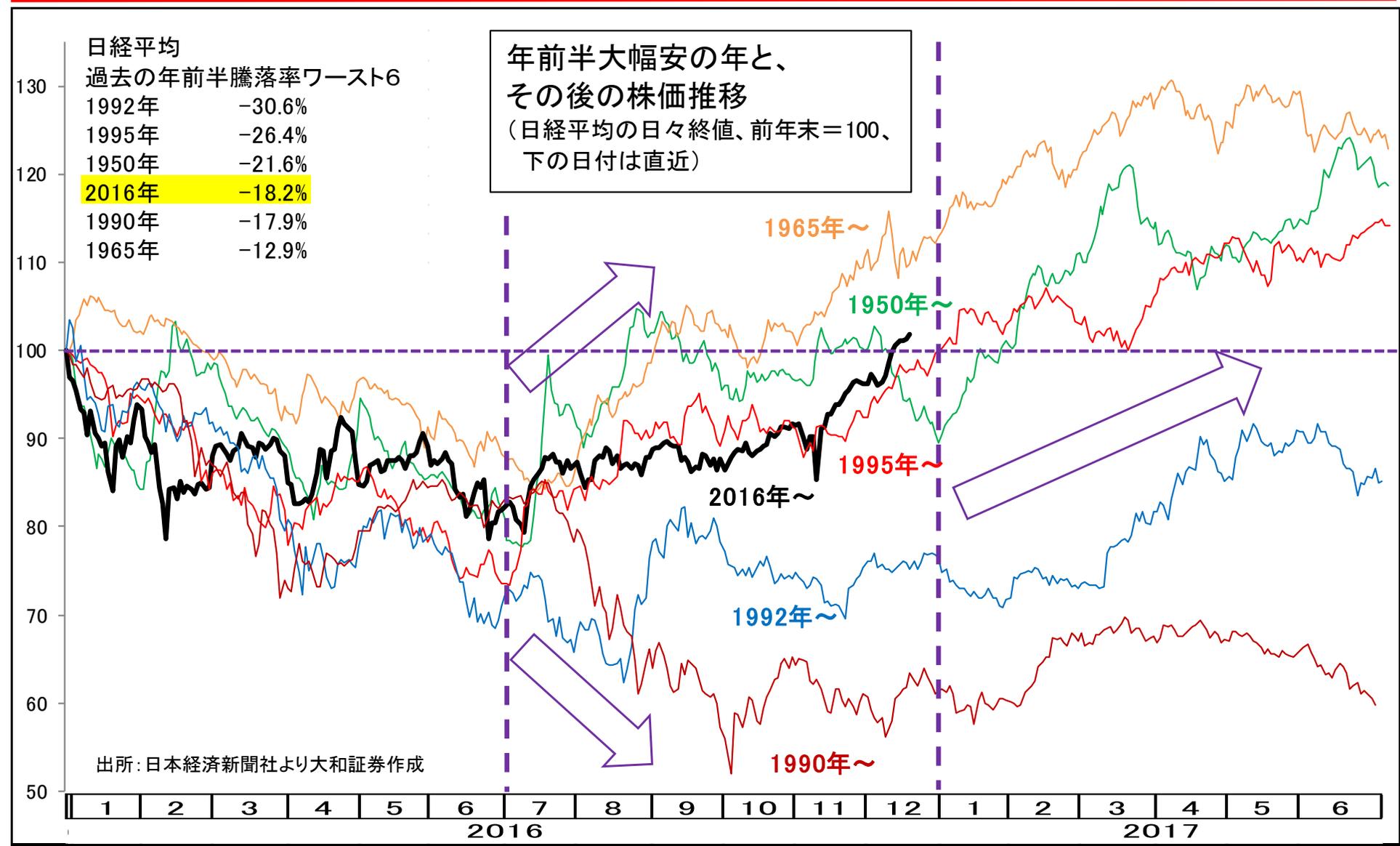
前年比: %。( )内は9月見通しとの差: %pt  
出所: OECDより大和証券作成

# 欧州等の政治スケジュール、リスク要因として意識されよう

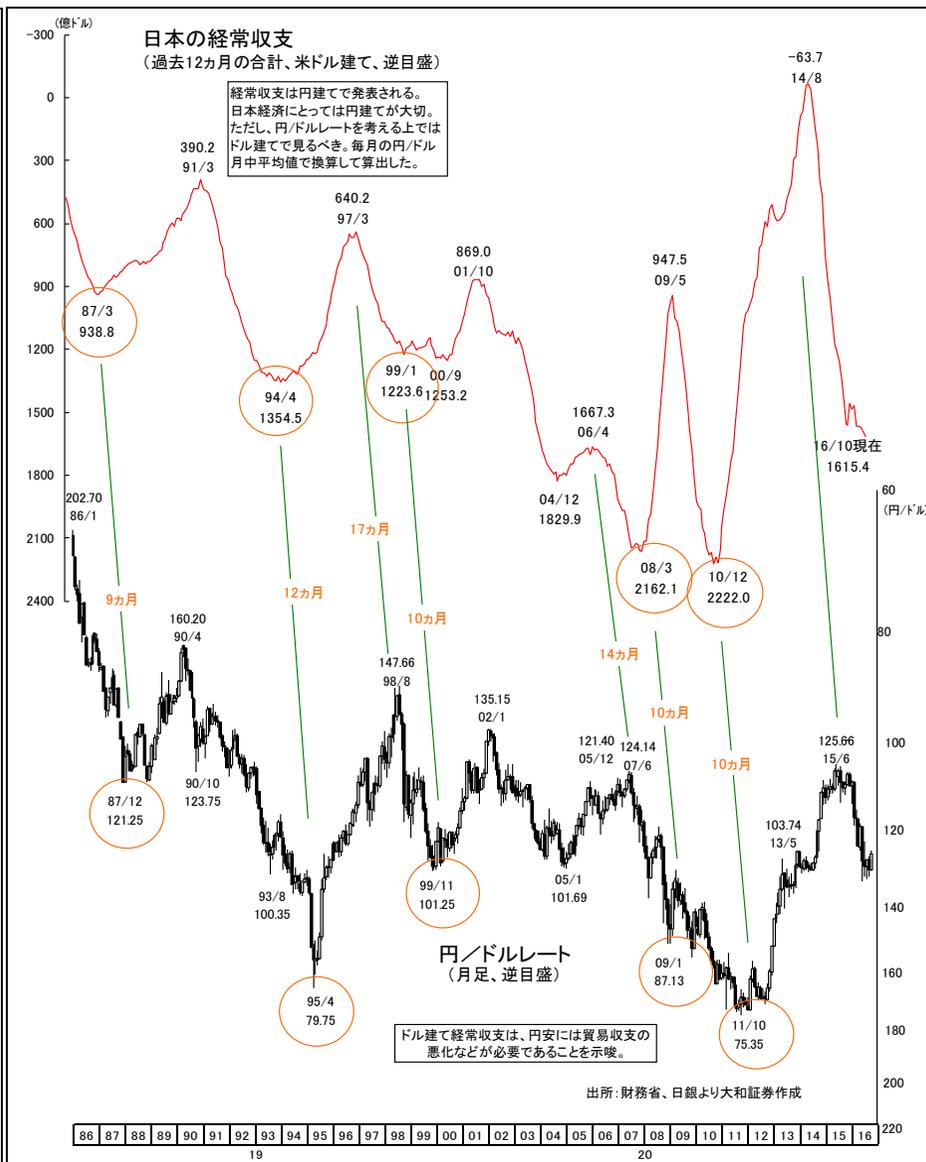
2017年	3月	オランダ総選挙	極右政党・自由党が第一党になる可能性
	3月	Brexit通告？	
	4月・5月	フランス大統領選挙	極右・国民戦線のルペン党首が決選投票に進む公算大
	5月	イタリアG7サミット	
	7月	ドイツG20サミット	
	9月頃	ドイツ連邦議会選挙	支持が低下傾向にあるメルケル首相の続投を占う
2018年	2月	イエレンFRB議長任期	
	春	イタリア総選挙	
	4月	黒田日銀総裁任期	
	9月	安倍自民党総裁任期	
2019年	5～6月	欧州議会選挙	英国の離脱問題が議席配分に影響も
	10月末	欧州委員長任期	欧州理事会指名、欧州議会承認

出所:『これからの日本の論点』日本経済新聞社編など各種資料より大和証券作成

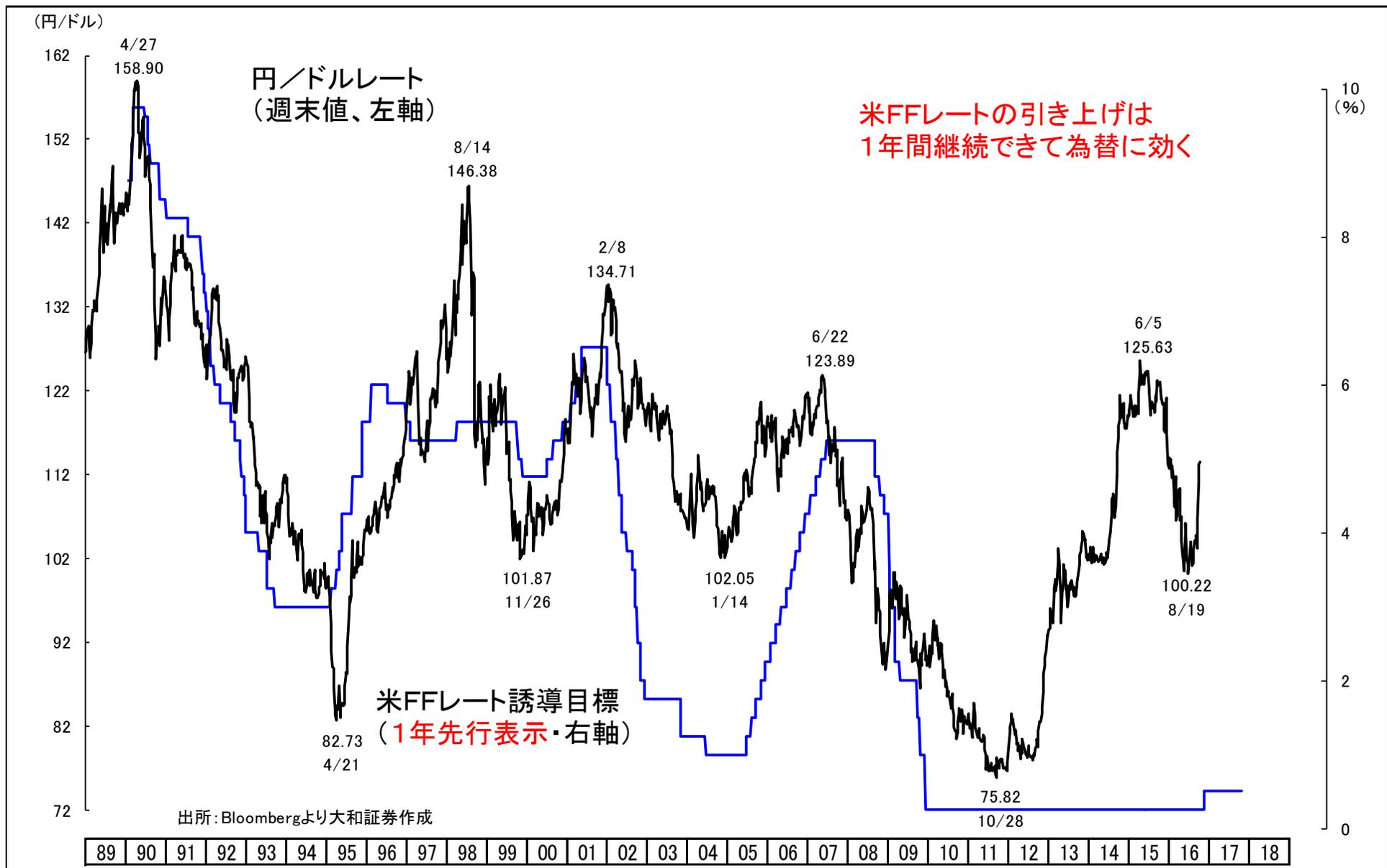
# 年後半から大きく切り返した相場は、翌年前半まで堅調



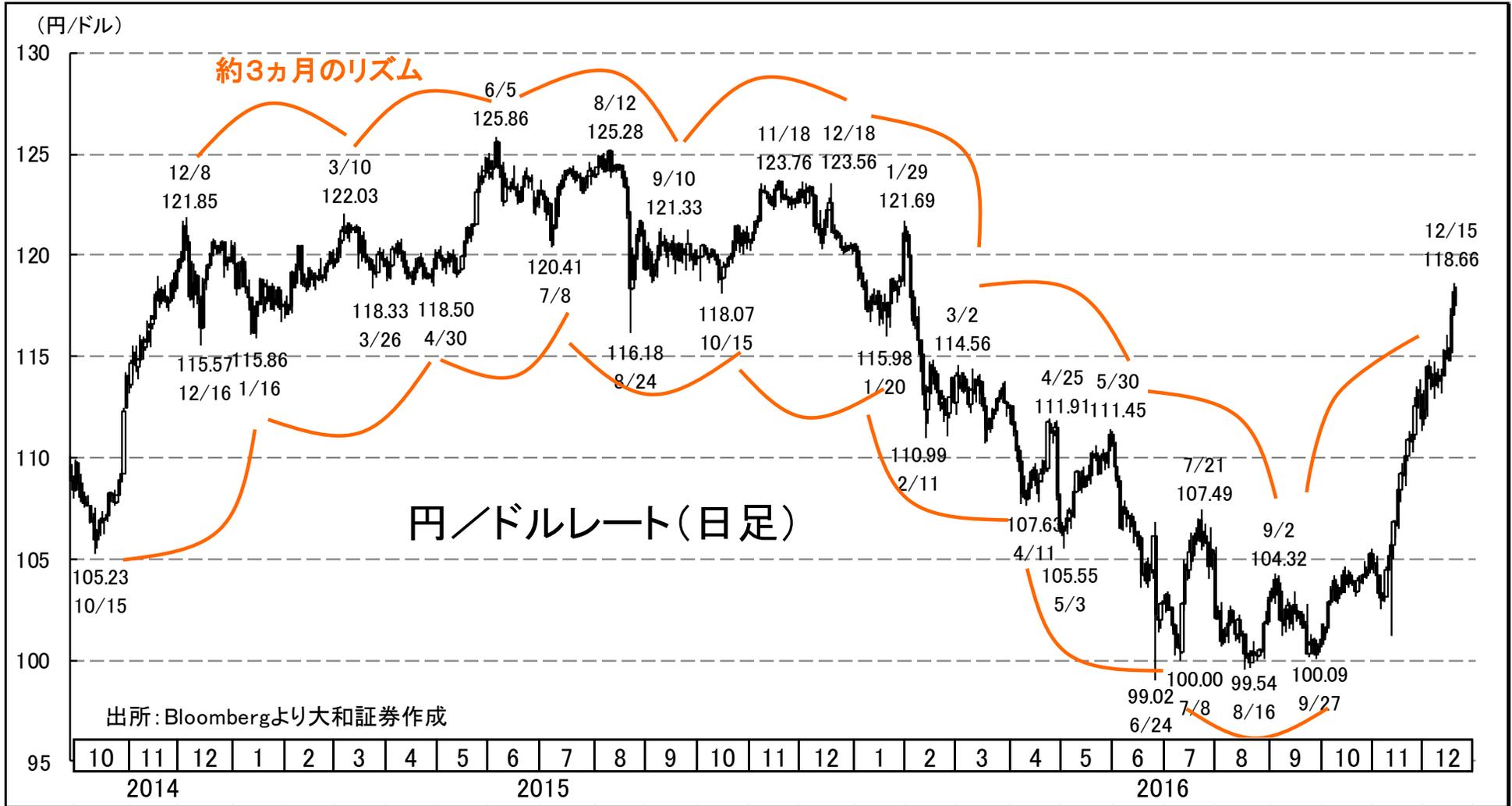
# 為替は16年サイクルのドル高の佳境場面に



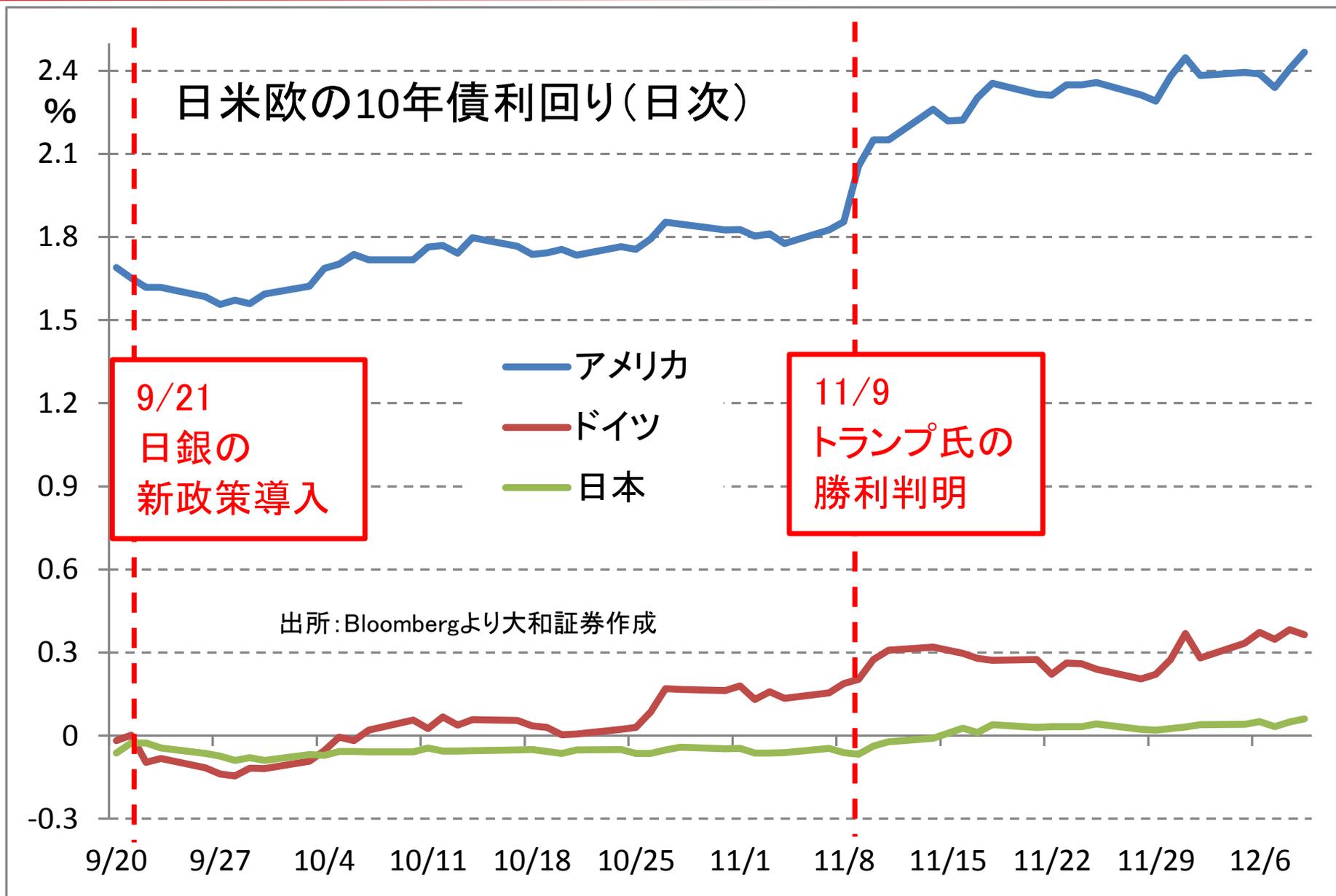
# 米国の利上げは、約1年遅れて為替のドル高要因に



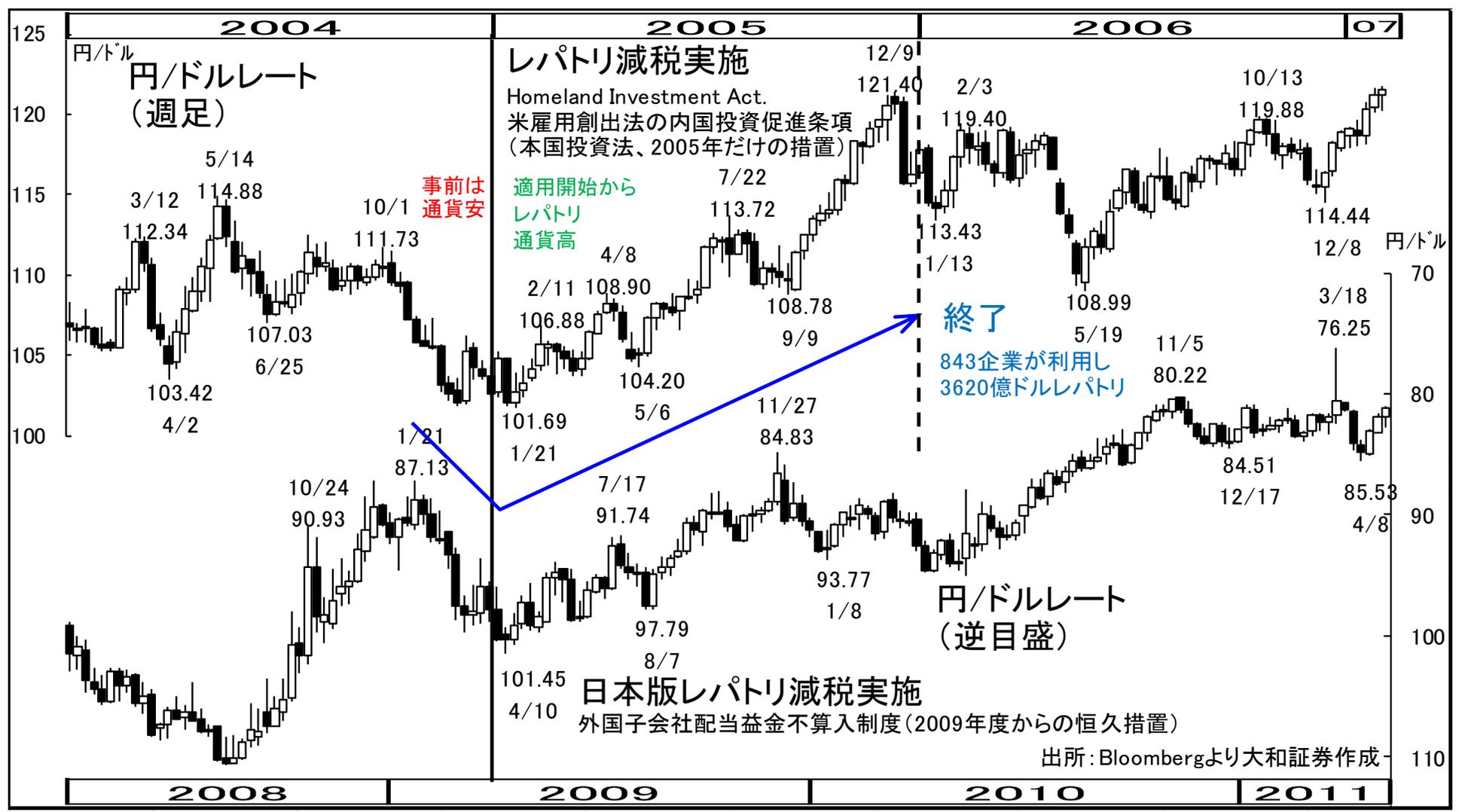
# 円/ドルは目先でドル佳境の可能性も、レンジは切り上げ



# 日銀の新政策は円安に奏功している



# 米国でレパトリ減税が実施されれば大きな影響あり



# 共和党政権の1年目の米国株は軟化しやすいが、今回は？

## 戦後における米大統領選挙後の党派別の経済・株価パフォーマンス

民主党政権	米実質GDP成長率(前年比)			
	1年目	2年目	3年目	4年目
平均成長率(%)	2.4	5.1	3.8	3.3

共和党政権	米実質GDP成長率(前年比)			
	1年目	2年目	3年目	4年目
平均成長率(%)	3.4	0.7	3.3	3.8

※1949年トルーマン大統領以降で算出

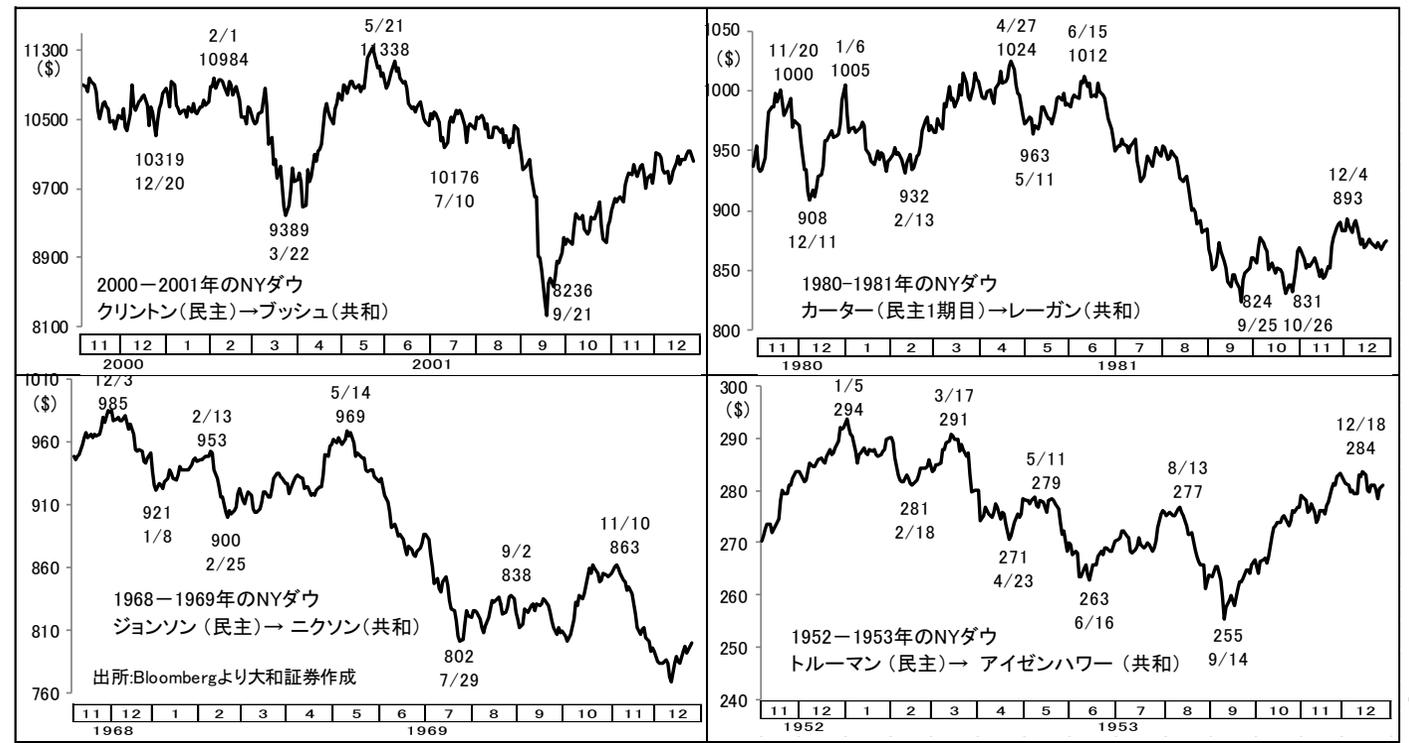
出所:米BEAより大和証券作成。直近値は2016年1~3Q各期年率の平均

民主党政権	NYダウ前年比			
	1年目	2年目	3年目	4年目
前年比、上昇一下落回数	7-1	5-3	7-1	7-1
平均騰落率(%)	13.4	2.7	14.1	9.2

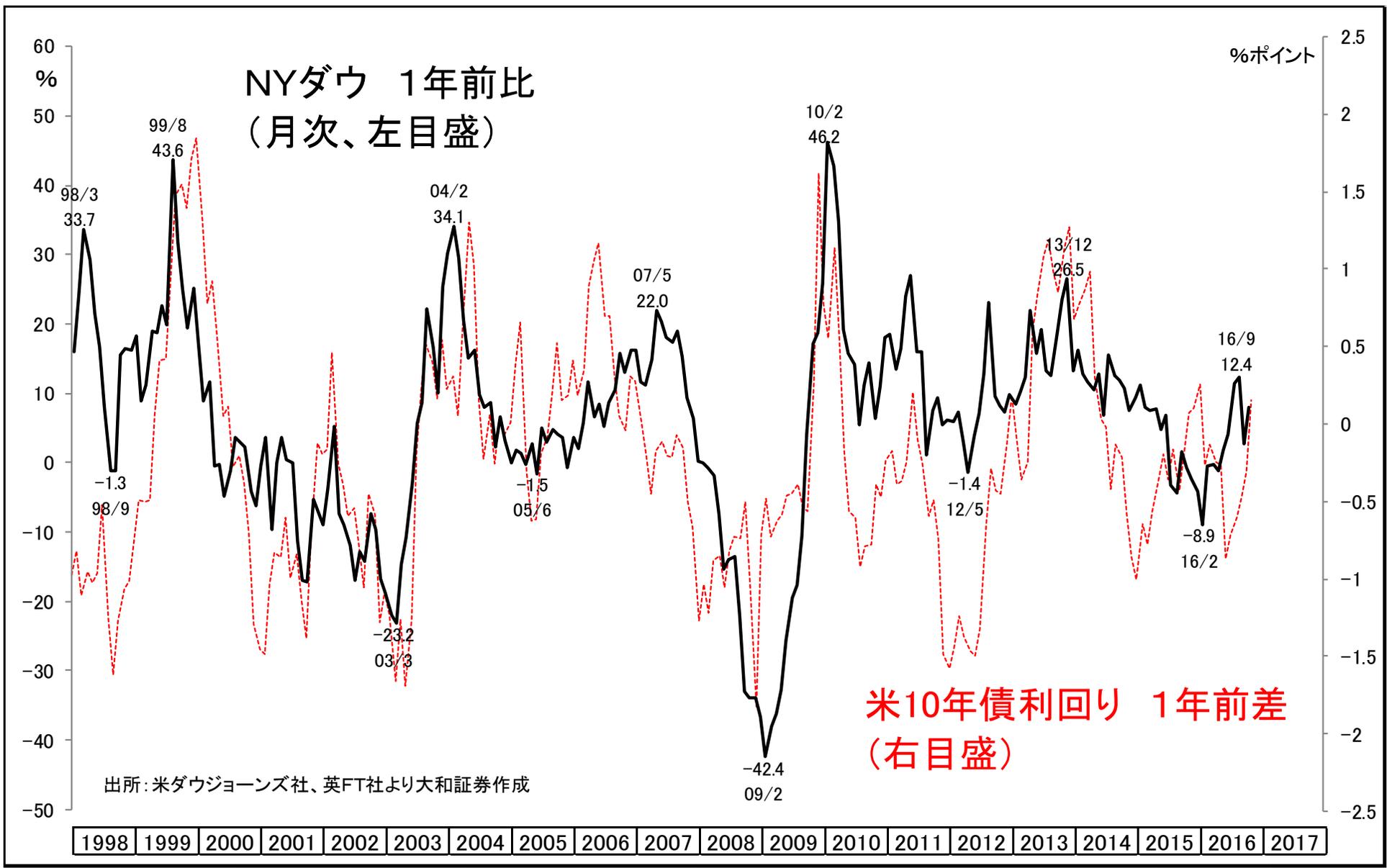
共和党政権	NYダウ前年比			
	1年目	2年目	3年目	4年目
前年比、上昇一下落回数	2-7	6-3	9-0	6-3
平均騰落率(%)	▲1.2	10.3	17.4	0.8

※1949年トルーマン大統領以降で算出

出所:ダウジョーンズ社より大和証券作成。直近値は2016年10月28日まで



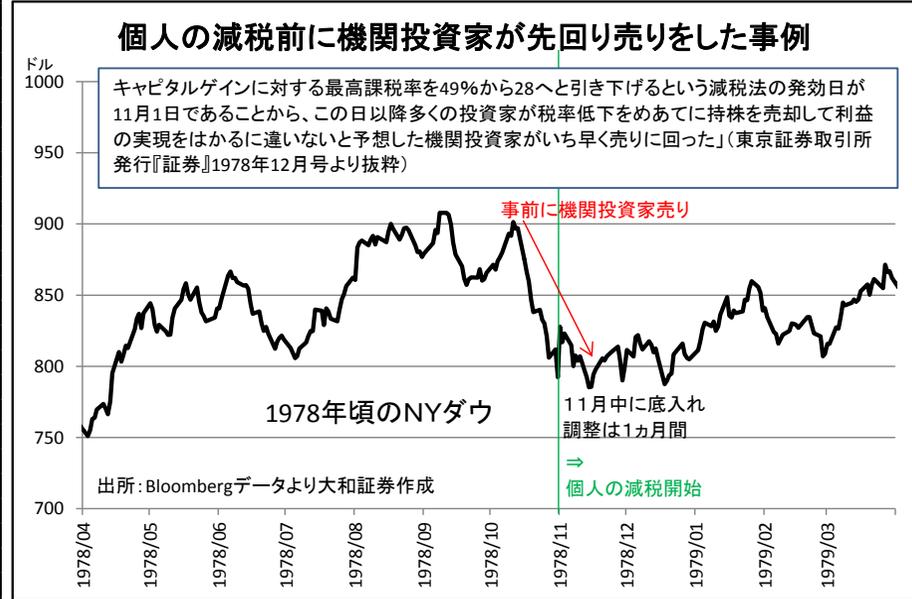
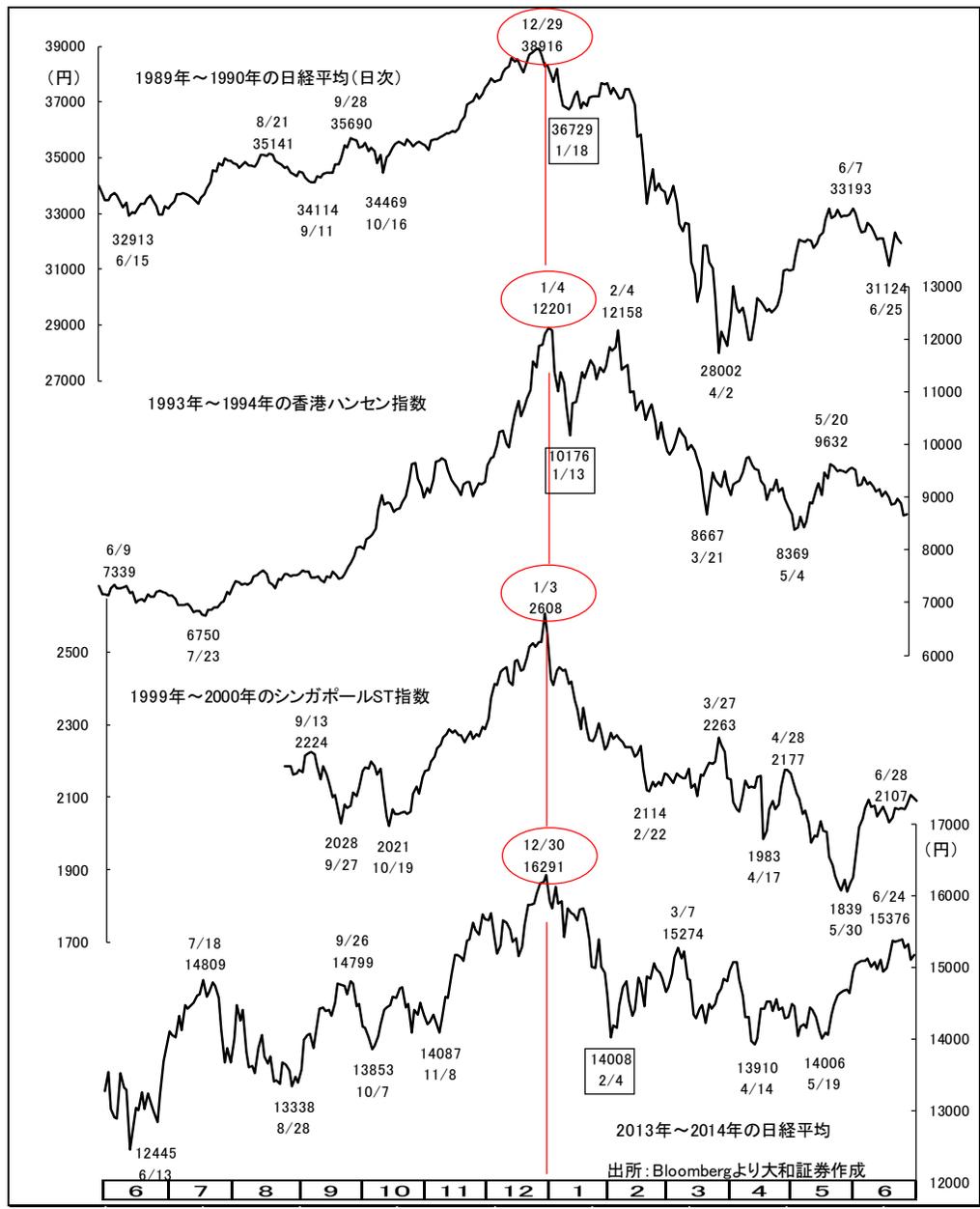
# 米国の金利上昇傾向は、米国株にもポジティブ



# 米住宅着工・建設許可件数は米国株の短期的な方向を示唆



# 年末高⇒年初安のパターンに注意も、1月後半には底入れ



# OPEC総会で減産合意、まずは2~3カ月の堅調推移に期待



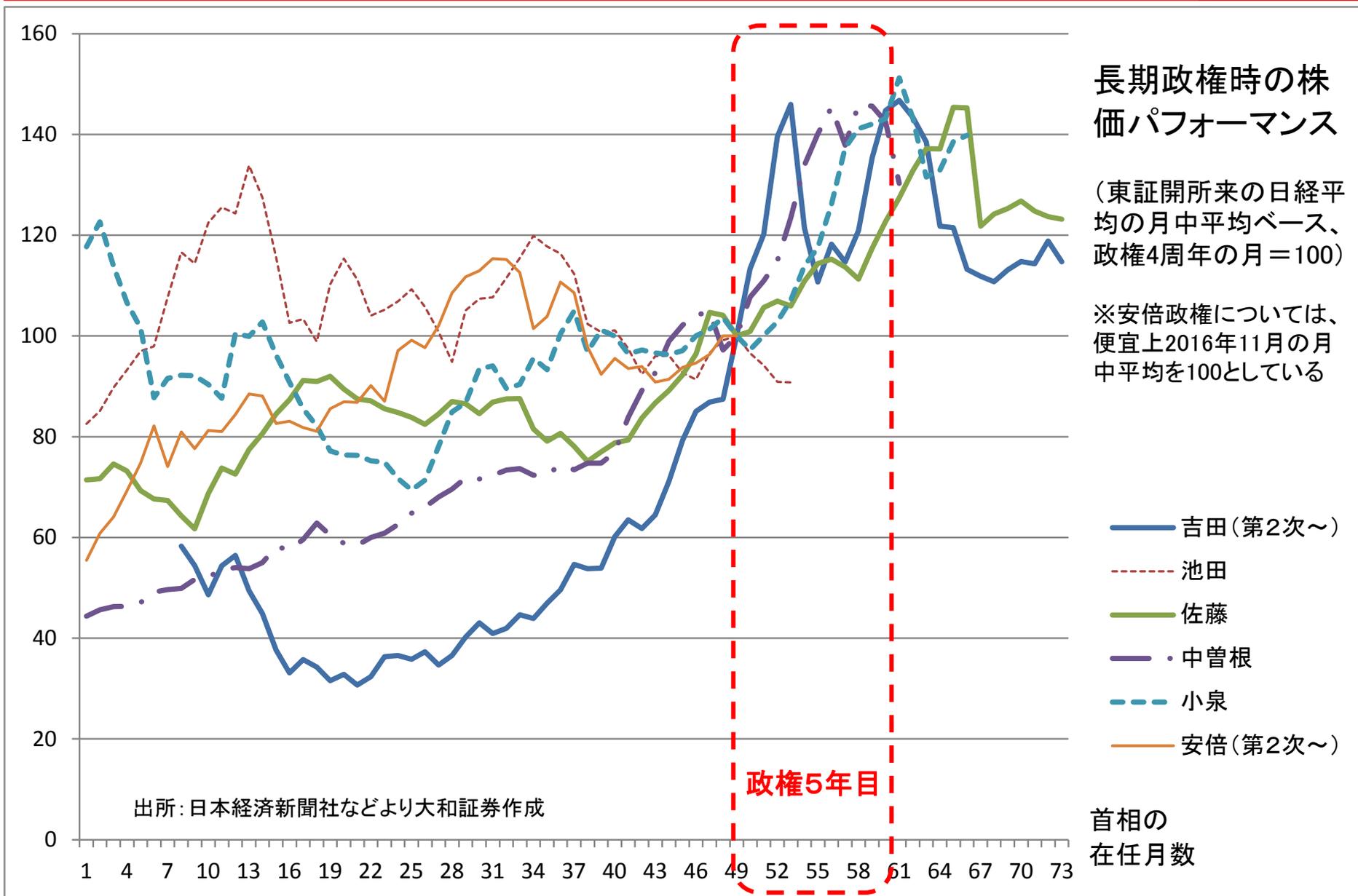
## 原油価格の変動に影響を受けやすいセクター

WTI連動セクター	同・逆連動セクター
1 卸売	1 精密機器
2 石油・石炭	2 輸送用機器
3 非鉄金属	3 繊維
4 その他製品	4 陸運
5 機械	5 空運
6 ガラス・土石	6 化学
7 鉱業	7 倉庫・運輸
8 鉄鋼	8 薬品

※東証業種別指数の対TOPIXレシオケータと、WTI価格について、  
過去3年間の週次データ13週前比の相関でランキング

出所：東証などより大和証券作成

# 長期政権の5年目は、株式市場のゴールデン・イヤーか



# 政権4年目～5年目にエポックメイキングな出来事

○戦後の長期政権

政権	開始年月	1	2	3	4	5	6	7	8(年目)
吉田 (第2次～)	1948/10～				1952/4 日本の 主権回復				
佐藤	1964/11～				1968/6 小笠原諸島 本土復帰				1972/5 沖縄 本土復帰
中曽根	1982/11～				1986/6 衆参同日選 大勝	1987/4 国鉄分割 民営化			
小泉	2001/4～					2005/9-10 衆院選大勝 郵政改革法			
安倍 (第2次～)	2012/12～					北方領土? 衆院選?			

出所:各種資料より大和証券作成

民主党政権		NYダウ前年比(%)			
任期	大統領	1年目	2年目	3年目	4年目
1949-1952	トルーマン	12.9	17.6	14.4	8.4
1961-1964	ケネディ・ジョンソン	18.7	▲ 10.8	17.0	14.6
1965-1968	ジョンソン	10.9	▲ 18.9	15.2	4.3
1977-1980	カーター	▲ 17.3	▲ 3.2	4.2	14.9
1993-1996	クリントン	13.7	2.1	33.5	26.0
1997-2000	クリントン	22.6	16.1	25.2	▲ 6.2
2009-2012	オバマ	18.8	11.0	5.5	7.3
2013-	オバマ	26.5	7.5	▲ 2.2	4.2
	平均	13.4	2.7	14.1	9.2

出所:ダウジョーンズ社より大和証券作成。直近値は2016年10月28日まで

共和党政権		NYダウ前年比(%)			
任期	大統領	1年目	2年目	3年目	4年目
1953-1956	アイゼンハワー	▲ 3.8	44.0	20.8	2.3
1957-1960	アイゼンハワー	▲ 12.8	34.0	16.4	▲ 9.3
1969-1972	ニクソン	▲ 15.2	4.8	6.1	14.6
1973-1976	ニクソン・フォード	▲ 16.6	▲ 27.6	38.3	17.9
1981-1984	レーガン	▲ 9.2	19.6	20.3	▲ 3.7
1985-1988	レーガン	27.7	22.6	2.3	11.9
1989-1992	ブッシュ(父)	27.0	▲ 4.3	20.3	4.2
2001-2004	ブッシュ	▲ 7.1	▲ 16.8	25.3	3.2
2005-2008	ブッシュ	▲ 0.6	16.3	6.4	▲ 33.8
	平均	▲ 1.2	10.3	17.4	0.8

# 十二支では堅調、十干では軟調。2017年はどちらか？

十二支別日経平均騰落率等(%)

十二支	丑 うし	寅 とら	卯 うさぎ	辰 たつ	巳 み	午 うま	未 ひつじ	申 さる	酉 とり	戌 いぬ	亥 い	子 ねずみ
	49 -37.6	50 -7.3	51 62.9	52 118.4	53 4.2	54 -5.8	55 19.5	56 29.0	57 -13.6	58 40.5	59 31.3	60 55.1
	61 5.6	62 -0.8	63 -13.8	64 -0.7	65 16.5	66 2.4	67 -11.6	68 33.6	69 37.6	70 -15.8	71 36.6	72 91.9
西暦末尾 二桁の数	73 -17.3	74 -11.4	75 14.2	76 14.5	77 -2.5	78 23.4	79 9.5	80 8.3	81 7.9	82 4.4	83 23.4	84 16.7
騰落率(%)	85 13.6	86 42.6	87 15.3	88 39.9	89 29.0	90 -38.7	91 -3.6	92 -26.4	93 2.9	94 13.2	95 0.7	96 -2.6
	97 -21.2	98 -9.3	99 36.8	00 -27.2	01 -23.5	02 -18.6	03 24.5	04 7.6	05 40.2	06 6.9	07 -11.1	08 -42.1
	09 19.0	10 -3.0	11 -17.3	12 22.9	13 56.7	14 7.1	15 9.1	16 -3.6				
平均騰落率	-6.3	1.8	16.4	28.0	13.4	-5.0	7.9	8.1	15.0	9.8	16.2	23.8
騰落率順位	12位	10位	3位	1位	6位	11位	9位	8位	5位	7位	4位	2位
勝率	3勝3敗	1勝5敗	4勝2敗	4勝2敗	4勝2敗	3勝3敗	4勝2敗	4勝2敗	4勝1敗	4勝1敗	4勝1敗	3勝2敗
勝率順位	10位	12位	4位	4位	4位	10位	4位	4位	1位	1位	1位	9位

2016年は11月28日までの騰落率。1949年は取引再開日(5/16)と年末の比較。出所:日本経済新聞社より大和証券算出

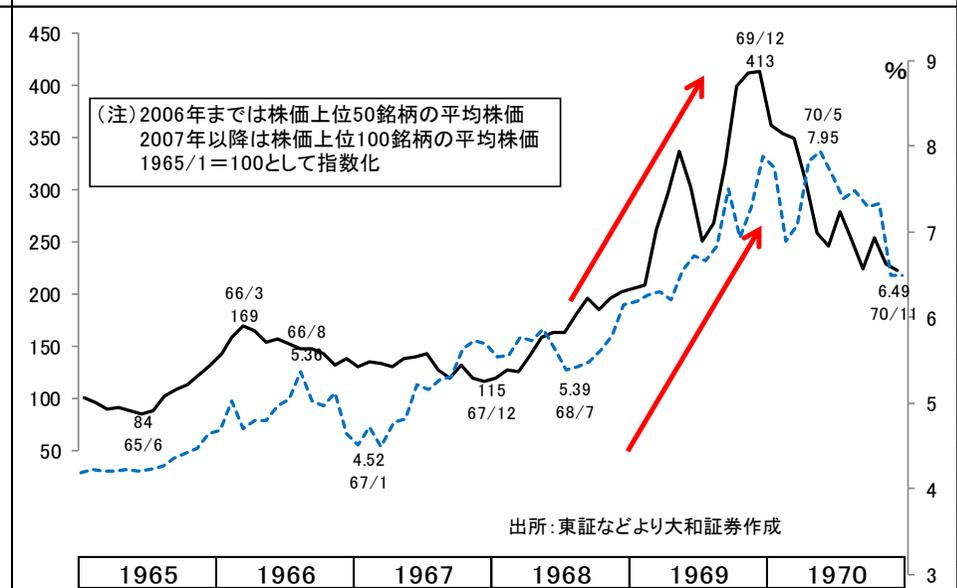
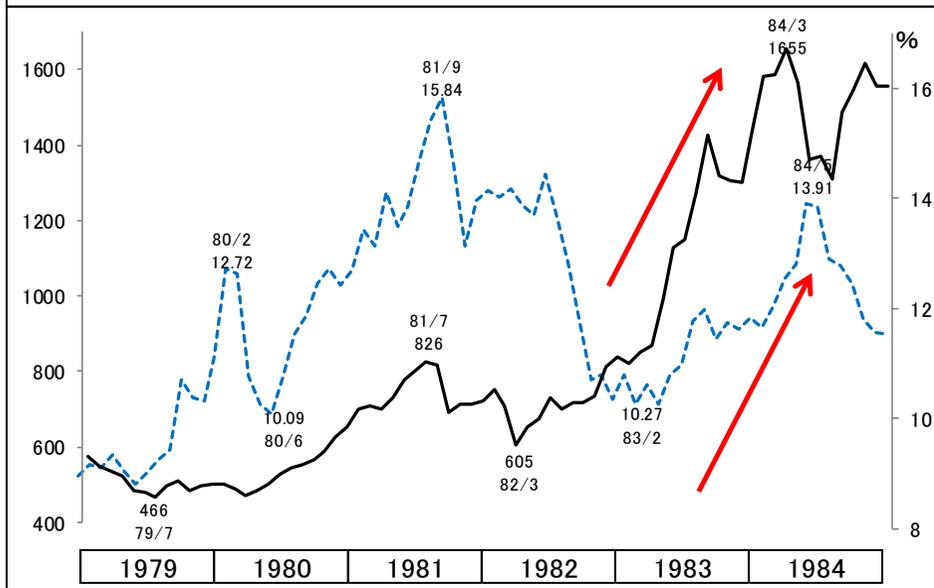
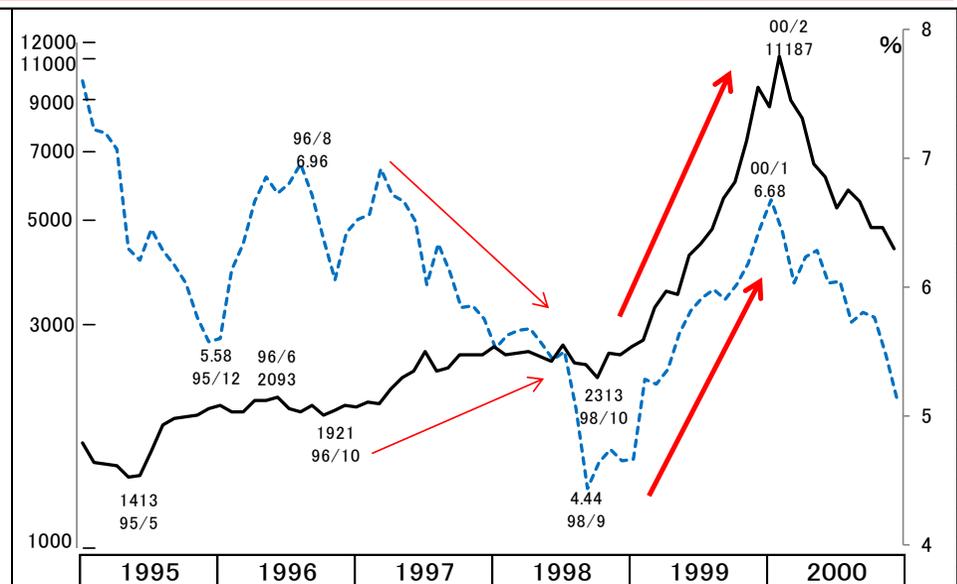
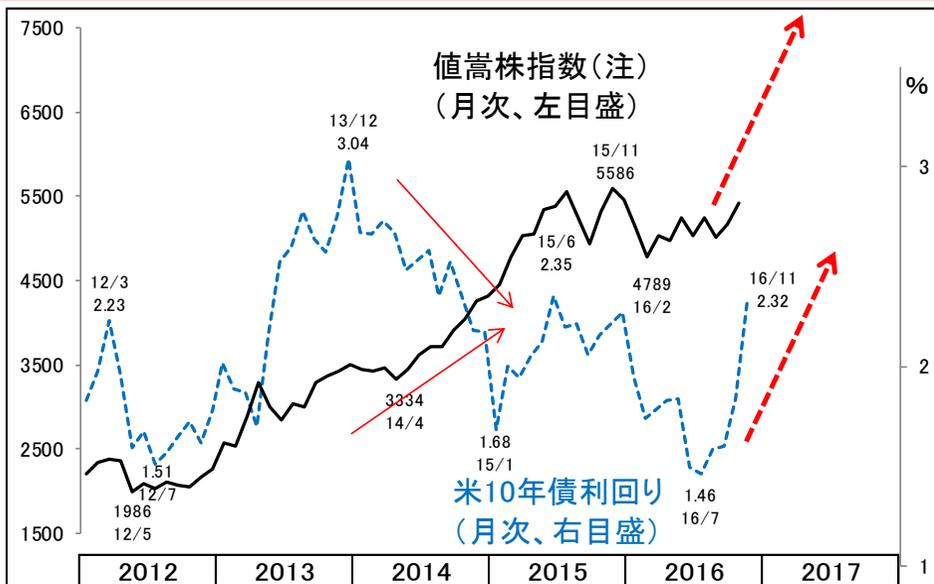
十干(じっかん)別日経平均騰落率等(%)

末尾 十干 年	9の年 己 つちのと	0の年 庚 かのえ	1の年 辛 かのと	2の年 壬 みずのえ	3の年 癸 みずのと	4の年 甲 きのえ	5の年 乙 きのと	6の年 丙 ひのえ	7の年 丁 ひのと	8の年 戊 つちのえ
1949-1958	-37.6	-7.3	62.9	118.4	4.2	-5.8	19.5	29.0	-13.6	40.5
1959-1968	31.3	55.1	5.6	-0.8	-13.8	-0.7	16.5	2.4	-11.6	33.6
1969-1978	37.6	-15.8	36.6	91.9	-17.3	-11.4	14.2	14.5	-2.5	23.4
1979-1988	9.5	8.3	7.9	4.4	23.4	16.7	13.6	42.6	15.3	39.9
1989-1998	29.0	-38.7	-3.6	-26.4	2.9	13.2	0.7	-2.6	-21.2	-9.3
1999-2008	36.8	-27.2	-23.5	-18.6	24.5	7.6	40.2	6.9	-11.1	-42.1
2009-2015	19.0	-3.0	-17.3	22.9	56.7	7.1	9.1	-3.4		
平均騰落率	17.9	-4.1	9.8	27.4	11.5	3.8	16.3	12.8	-7.5	14.3
騰落率順位	2位	9位	7位	1位	6位	8位	3位	5位	10位	4位
勝率	6勝1敗	2勝5敗	4勝3敗	4勝3敗	5勝2敗	4勝3敗	7勝0敗	5勝2敗	1勝5敗	4勝2敗
勝率順位	2位	9位	5位	5位	3位	5位	1位	3位	10位	8位

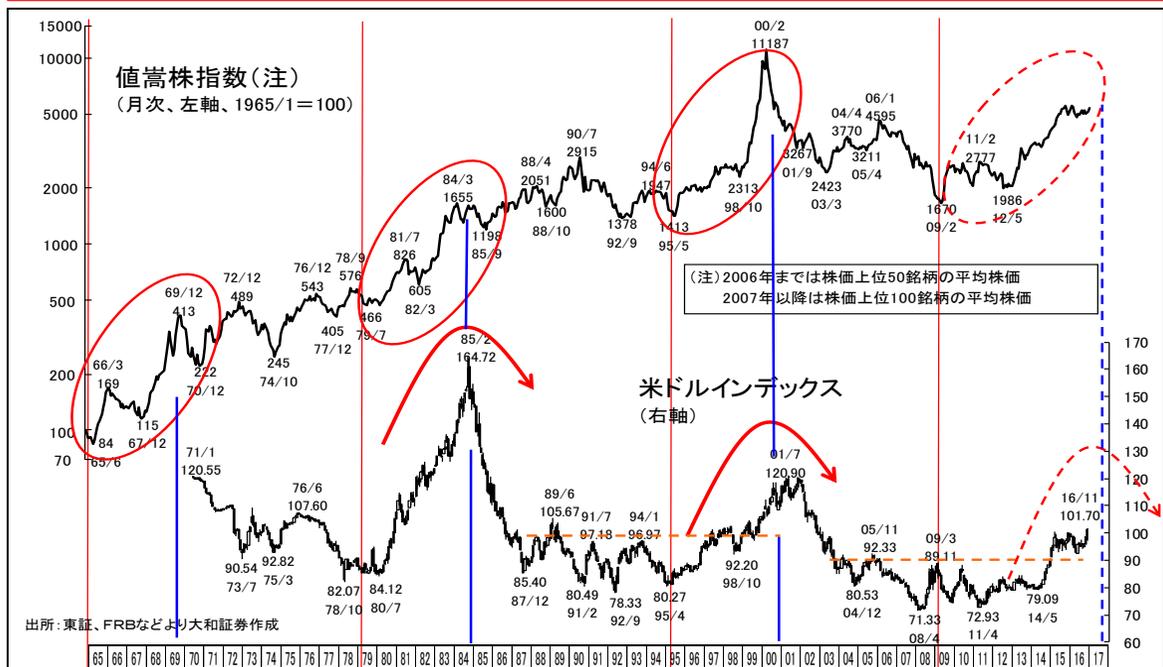
2016年は11月28日までの騰落率。1949年は取引再開日(5/16)と年末の比較。出所:日本経済新聞社より大和証券算出



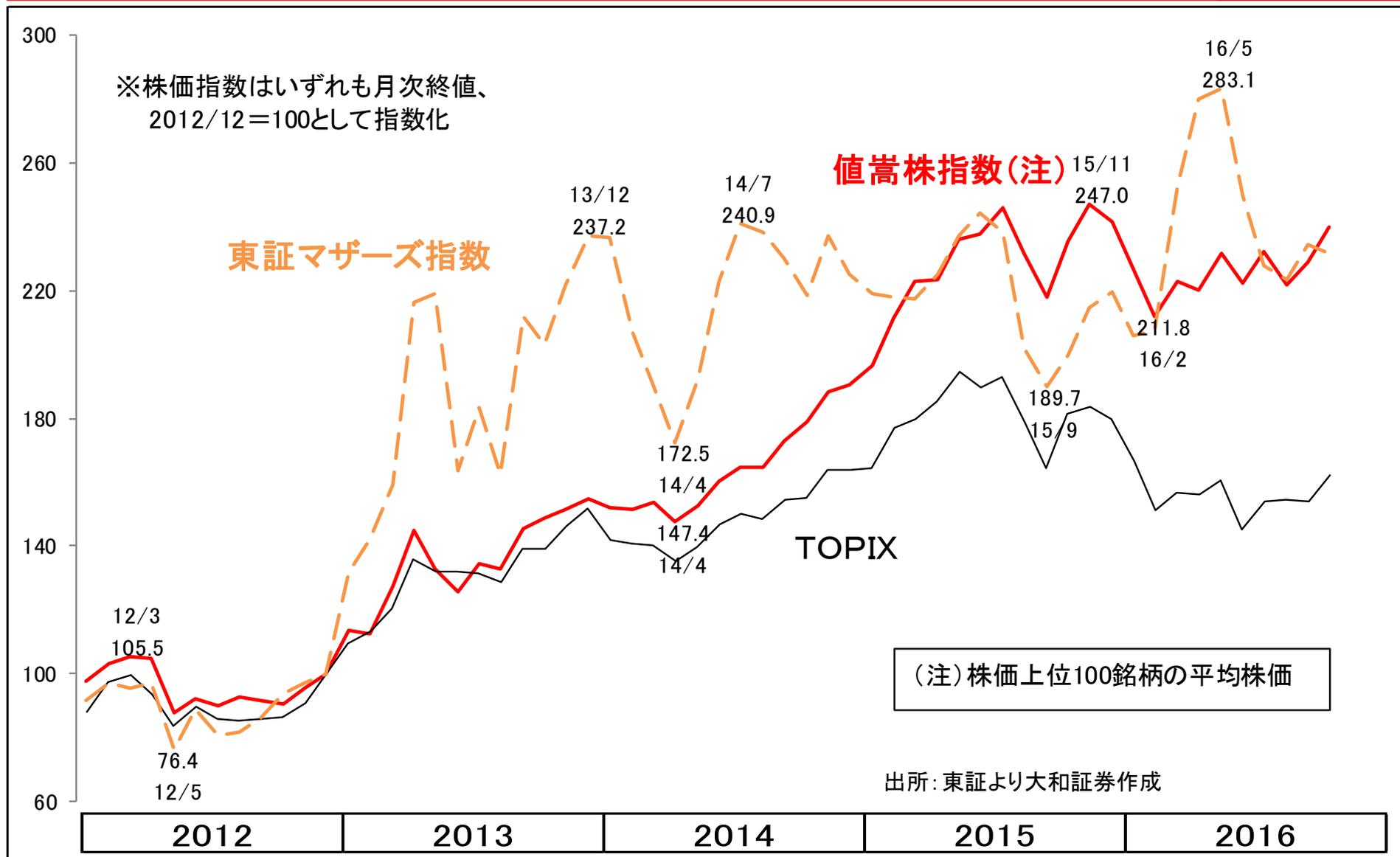
# 値嵩株物色の佳境は、米国の金利上昇がサインに



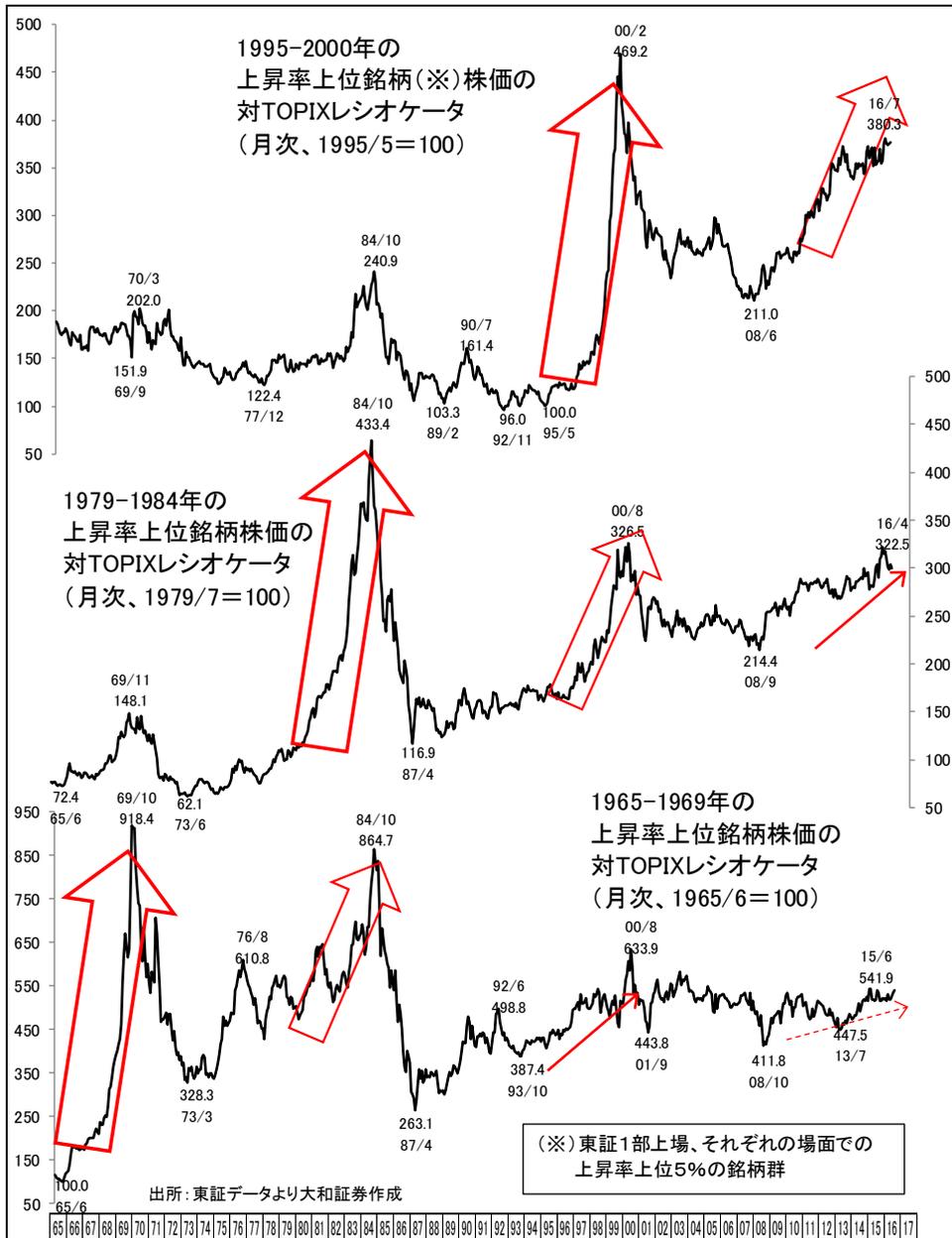
# 値嵩株はドル高の16年サイクルと連動、佳境はこれから



# ここ数年では、値嵩株や新興市場などが継続的に優位



# 2000年にかけて大波動となった銘柄は、今回も中心候補に



## 2000年にかけて大幅に上昇した銘柄

コード	銘柄名 (英語)	コード	銘柄名 (英語)
9984	ソフトバンクSOFTBANK GROUP CORP.	6101	ツガミ TSUGAMI CORP
9715	トランスコTRANS COSMOS INC.	8869	明和地所 MEIWA ESTATE CO.LTD.
9749	富士ソフトFUJI SOFT INCORPORATED	4676	フジHD FUJI MEDIA HOLDINGS INC.
9766	コナミHDKONAMI HOLDINGS CORP.	7718	スター精密STAR MICRONICS
9613	NTTデータNTT DATA CORPORATION	7731	ニコン NIKON CORPORATION
4680	ラウンドワROUND ONE CORPORATION	6702	富士通 FUJITSU
7729	東京精密 TOKYO SEIMITSU	5541	大平金 PACIFIC METALS
6857	アドバンテADVANTEST CORP.	4530	久光製薬 HISAMITSU PHARM.
4684	オービックOBIC CO.LTD.	6503	三菱電機 MITSUBISHI ELECTRIC
9682	D T S DTS CORPORATION	4183	三井化学 MITSUI CHEMICALS. INC.
4549	栄研化学 EIKEN CHEMICAL	4543	テルモ TERUMO CORP.
5801	古河電工 FURUKAWA ELECTRIC CO.LTD.	6861	キーエンスKEYENCE CORPORATION
6506	安川電機 YASKAWA ELECTRIC CORP.	6273	SMC SMC CORPORATION
8227	しまむら SHIMAMURA CO.LTD.	9692	シーエーシCOMPUTER ENG & CONSULTING
8591	オリックスORIX CORPORATION	7741	HOYA HOYA CORP.
9404	日テレHDNIPPON TELEVISION HLDS	9401	TBSHD TOKYO BROADCASTING SYS HD
9719	S C S K SCSK CORPORATION	6367	ダイキンエDAIKIN INDUSTRIES
9962	ミスミG MISUMI GROUP INC.	7974	任天堂 NINTENDO CO.LTD.
8056	日本ユニシNIHON UNISYS LTD.	9437	NTTドコNTT DOCOMO INC.
8035	東京エレクTOKYO ELECTRON	9433	KDDI KDDI CORPORATION
6804	ホシデン HOSIDEN CORPORATION	6806	ヒロセ電機HIROSE ELECTRIC
6981	村田製作 MURATA MFG	7735	スクリーン SCREEN HOLDINGS CO.LTD.
6758	ソニー SONY CORPORATION	1518	三井松島 MITSUI MATSUSHIMA CO. LTD
7552	ハビネットHAPPINET CORPORATION	8113	ユニチャーUNI CHARM CORP
9989	サンドラッグSUNDRUG CO.LTD.	6965	浜松ホトニHAMAMATSU PHOTONICS
2593	伊藤園 ITO EN LTD.	4506	大日住薬 SUMITOMO DAINIPPON PHARMA
8572	アコム ACOM CO.LTD.	9735	セコム SECOM CO.
2531	宝HLD TAKARA HOLDINGS INC.		

出所：東証データなどより大和証券作成

(注) 銘柄名については、弊社データベースの制約により、途中までの表示となる銘柄がある

# 2000年にかけて活躍した中心銘柄候補チャート①

テルモ  
(4543)



SMC  
(6273)



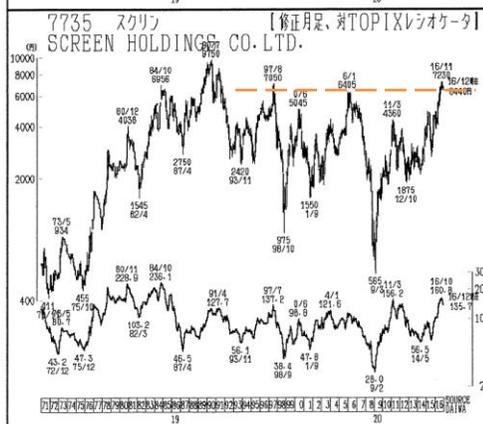
ダイキン  
(6367)



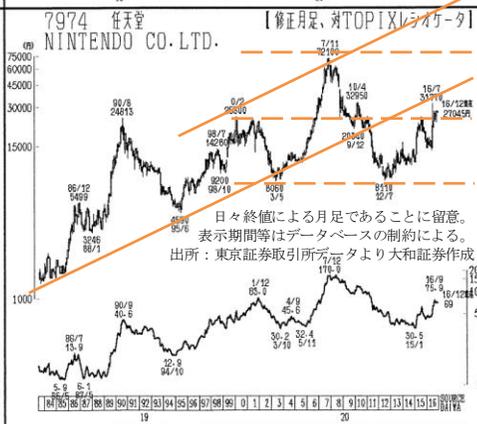
キーエンス  
(6861)



スクリーン  
(7735)



任天堂  
(7974)



日々終値による月足であることに留意。  
表示期間等はデータベースの制約による。  
出所：東京証券取引所データより大和証券作成

# 2000年にかけて活躍した中心銘柄候補チャート②

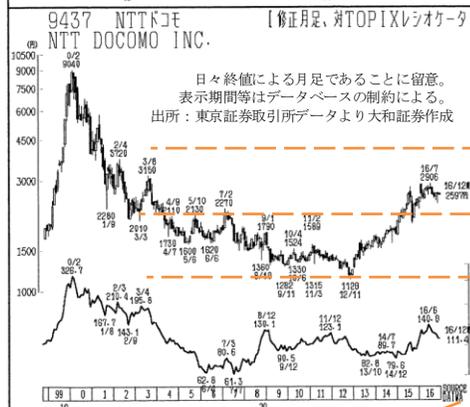
しまむら  
(8227)



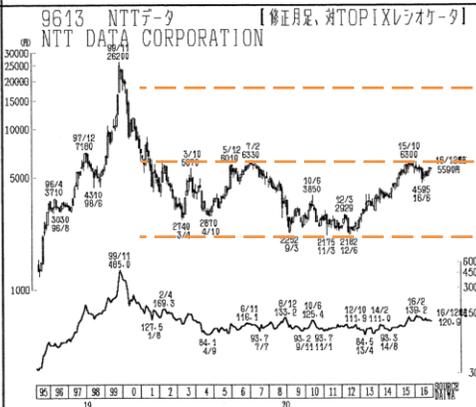
オリックス  
(8591)



NTTドコモ  
(9437)



NTTデータ  
(9613)



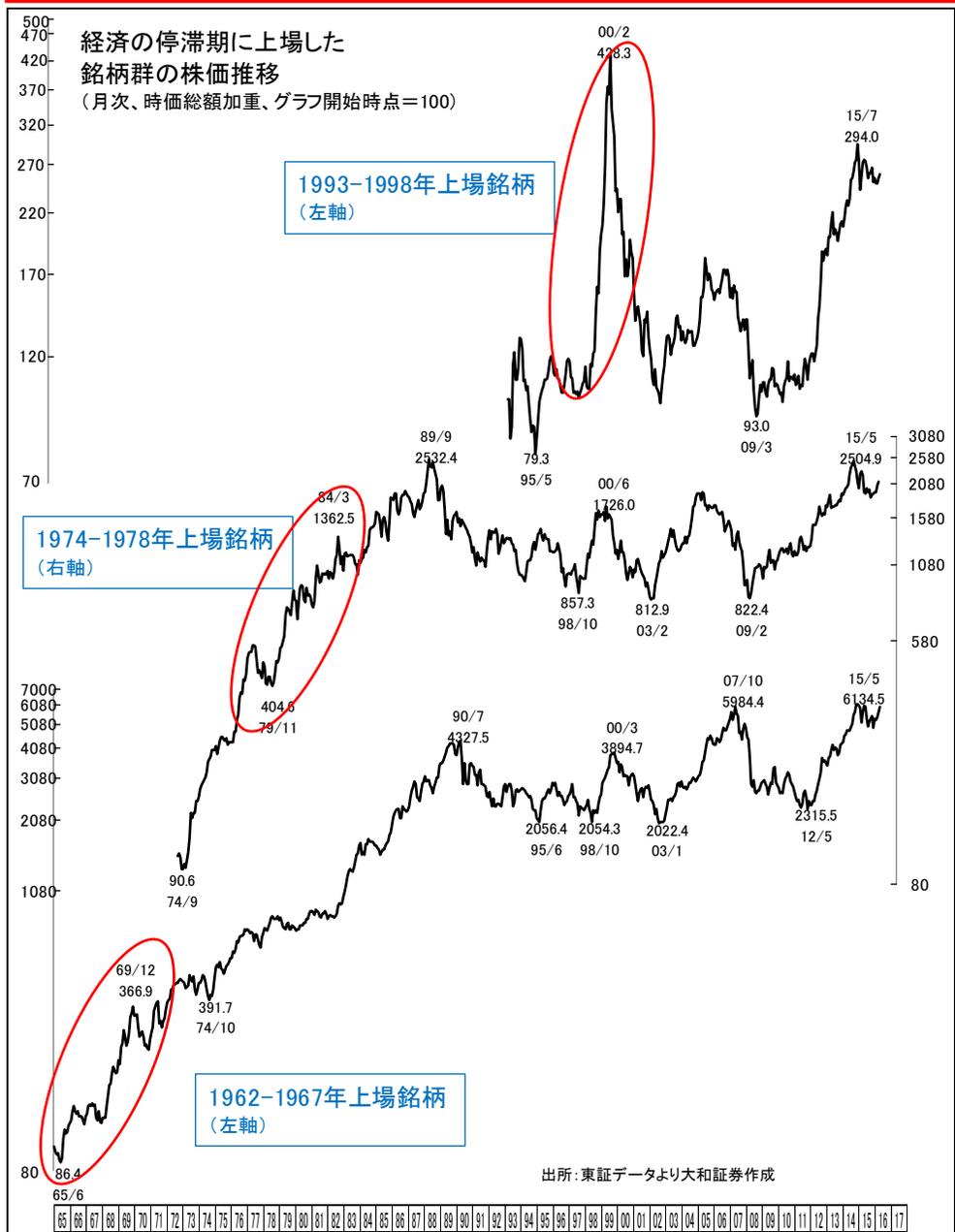
ミスミG  
(9962)



ソフトバンク  
(9984)



# 経済が停滞する時期に上場した銘柄は、値嵩株と共に飛躍



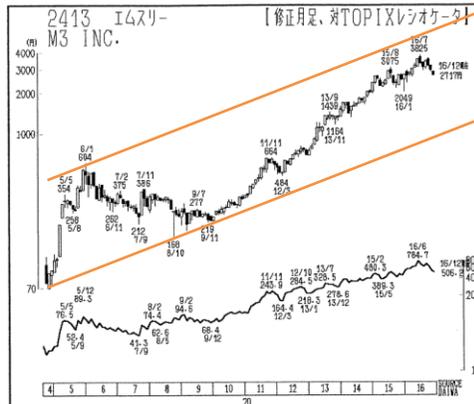
コード	銘柄名	(英語)
2175	SMS	SMS CO. LTD.
2181	テンプHD	TEMP HOLDINGS CO. LTD.
2327	NS SOLNS	SOLUTIONS CORPORATION
2331	ALSO	KSOHGO SECURITY SERVICES
2379	ディップ	DIP CORPORATION
2413	エムスリー	M3 INC.
2440	ぐるなび	GURUNAVI INC.
2670	ABCマ	ABC-MART INC.
2678	アスクル	ASKUL CORPORATION
2685	アダストリア	ADASTRIA CO. LTD
2695	くら	KURA CORPORATION LTD.
2730	エディオン	EDION CORPORATION
2784	アルフレ	ALFRESA HOLDINGS CORP.
3141	ウエルシア	WELCIA HOLDINGS CO. LTD.
3148	クリエイ	CREATE SD HOLDINGS CO. LTD
3349	コスモス薬	COSMOS PHARMACEUTICAL
3626	TIS	TIS INC.
3659	ネクソン	NEXON CO. LTD.
3738	ティーガイ	T-GAIA CORPORATION
4578	大塚HD	OTSUKA HOLDINGS CO. LTD.
4733	OBC	OBIC BUSINESS CONSULTANTS
4917	マンダム	MANDOM CORP.
4927	ポーラ	POLA ORBIS HOLDINGS INC.
4928	ノエビア	HNOEVIR HOLDINGS CO. LTD.
4974	タカラ	BITAKARA BIO INC.
6268	ナブテス	CO NABTESCO CORPORATION
6465	ホシザキ	HOSHIZAKI CORPORATION
6724	エプソン	SEIKO EPSON CORPORATION
6728	アルバック	ULVAC INC.
7164	全国保証	ZENKOKU HOSHO CO. LTD.
7630	壺番屋	ICHIBANYA CO. LTD.
7817	パラベ	DPARAMOUNT BED HOLDINGS CO
7846	パイロ	TPILOT CORPORATION
7864	フジシール	FUJISEAL INTERNATIONAL
8283	PALTA	PALTAC CORPORATION
8424	芙蓉	リースFUYO GENERAL LEASE CO.
8439	東京セン	チTOKYO CENTURY CORPORATION
8473	SBI	SBI HOLDINGS INC.
8848	レオパ	レスLEOPALACE 21 CORPORATION
8876	リロ	グラーRELO GROUP INC.
9449	GMO	GMO INTERNET INC.
9627	アイン	HDAIN HOLDINGS INC.
9843	ニトリ	HDNITORI HOLDINGS CO. LTD.
9948	アーク	スARCS COMPANY LTD.
9956	バロー	HDVALOR HOLDINGS CO. LTD.

2002-2004年、  
または  
2008-2012年の  
上場銘柄

出所: 東証データなどより大和証券作成  
(注) 銘柄名については、弊社データベースの制約により、途中までの表示となる銘柄がある

# 最近の経済低迷期に上場した、新規リード役候補チャート

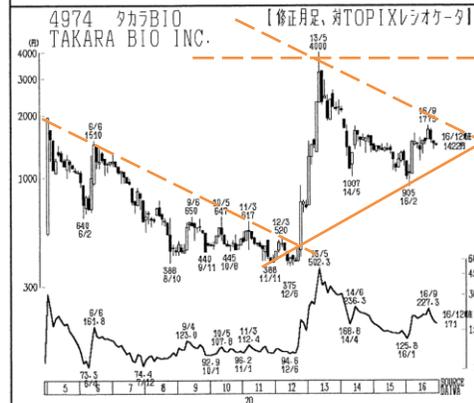
エムスリー  
(2413)



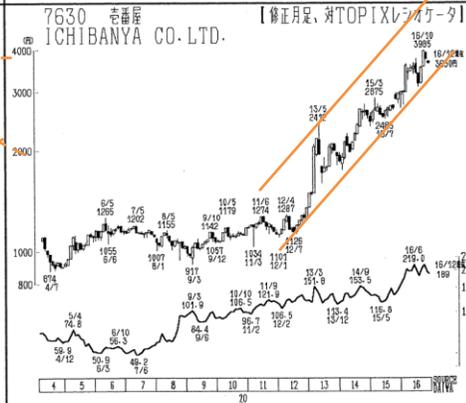
くら  
(2695)



タカラバイオ  
(4974)



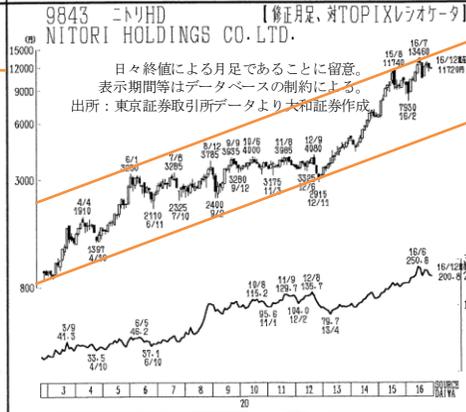
壺番屋  
(7630)



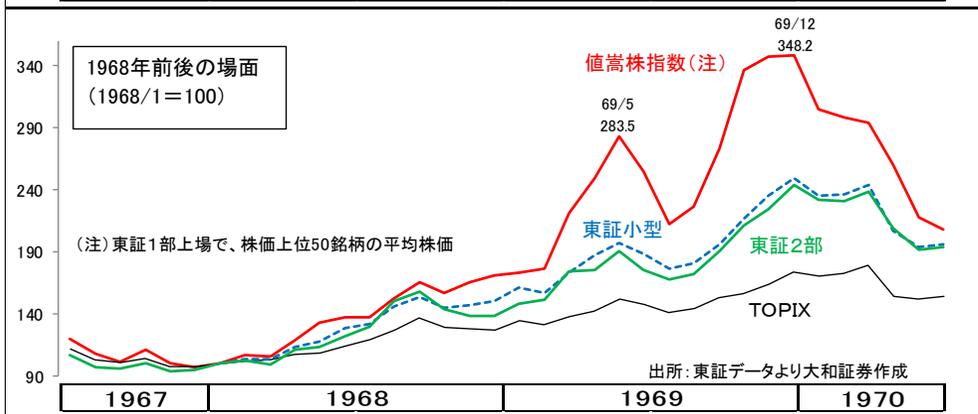
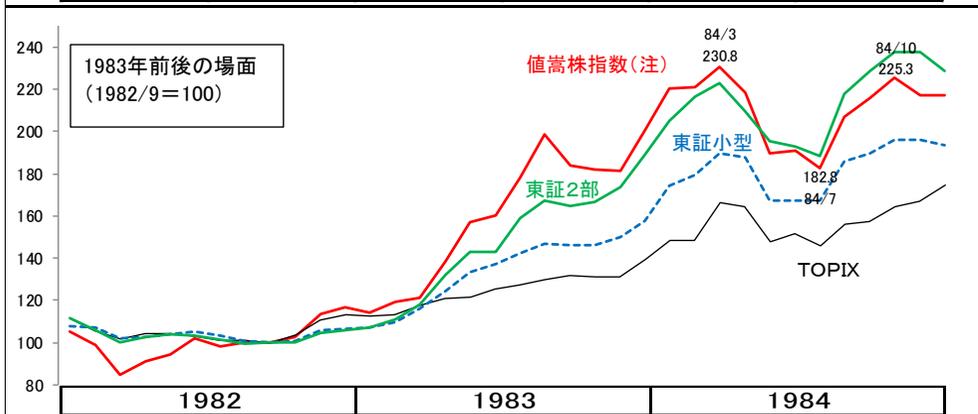
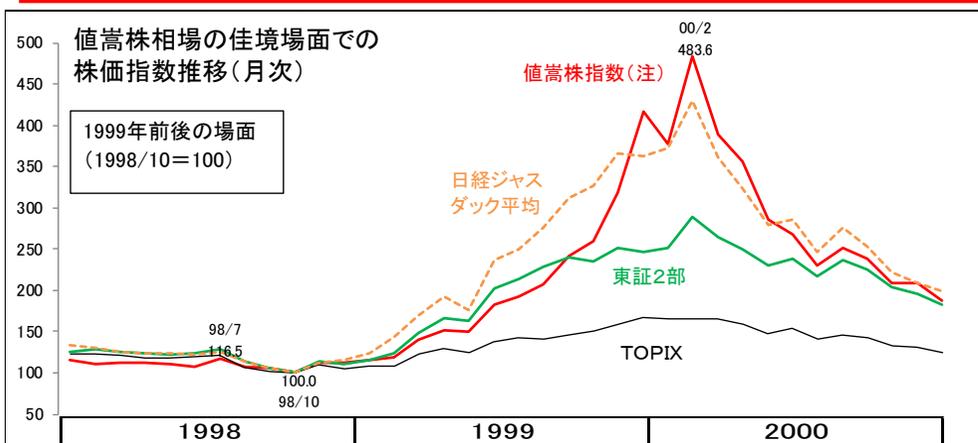
GMO  
(9449)



ニトリHD  
(9843)



# 値嵩株の佳境場面では、小型株や新興市場銘柄もリード役に



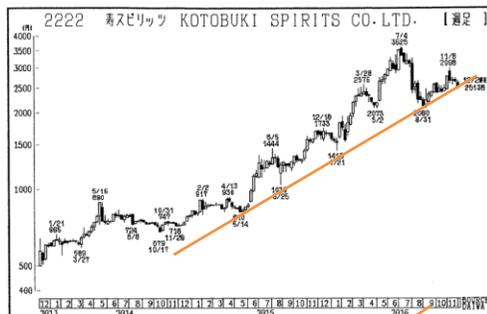
コード	主市場	銘柄名	(英語)
2124	東1	JAC	JAC RECRUITMENT CO. LTD.
2170	東1	LINK&LINK	LINK AND MOTIVATION INC.
2222	東1	寿スピリット	KOTOBUKI SPIRITS CO. LTD.
2315	JQS	SJI	SJI INC.
2395	東1	新日科学	SHIN NIPPON BIOMEDICAL L.
2468	東2	フュートレック	FUETREK CO. LTD.
2706	JQS	ブロッコリ	BROCCOLI CO. LTD.
3134	東1	HAMEE	HAMEE CORP.
3264	JQS	アスコット	ASCOT CORP.
3647	東2	ジー・スリグ	THREE HOLDINGS CORP
3652	東M	M-DMP	DIGITAL MEDIA PROFESSIONA
3655	東1	ブレインP	BRAINPAD INC.
3665	東M	M-エニグ	ENIGMO INC.
3666	東1	テクノス	TECNOS JAPAN INCORPORATED
3674	東M	M-オーク	AUCFAN CO. LTD.
3679	東M	M-じげん	ZIGEXN CO. LTD.
3696	東M	M-セレス	CERES INC.
3698	東M	M-CRI	MIDDLEWARE CO. LTD.
3744	東2	サイオス	SIOS TECHNOLOGY INC.
3793	東M	M-ドリコ	DRECOM CO. LTD.
3902	東1	MDV	MEDICAL DATA VISION
3904	東M	M-カヤック	KAYAC INC.
4026	東2	神島化学	KONOSHIMA CHEMICAL
4109	東1	ステラケミ	STELLA CHEMIFA CORP.
4346	東1	ネクシー	NEXYZ. GROUP CORPORATION
4369	JQS	トリケミカ	TRI CHEMICAL LABORATORIES
4592	東M	M-サンバ	SANBIO COMPANY LIMITED
4593	東M	M-ヘリオ	HEALIOS K.K.
4736	JQS	日本ラッド	NIPPON RAD INC.
4779	東1	ソフトブレ	SOFTBRAIN CO. LTD.
6033	東M	M-エク	EXTREME CO. LTD.
6050	東1	Eガーディ	E-GUARDIAN INC.
6055	東1	Jマテリア	JAPAN MATERIAL CO. LTD.
6079	東M	M-エナリ	ENERES CO. LTD.
6081	東M	M-アライ	ALLIED ARCHITECTS INC.
6094	東M	M-フリー	FREAKOUT. INC
6258	JQS	平田機工	HIRATA CORPORATION
7172	東M	M-JIA	JAPAN INVESTMENT ADVISER
7527	東1	システム	SYSTEMSOFT CORPORATION
7612	JQS	Nuts	NUTS INC.
7717	東1	Vテク	V TECHNOLOGY CO. LTD.
7818	東1	トランザク	TRANSACTION CO. LTD.
7906	東2	ヨネックス	YONEX CO. LTD.
9790	東1	福井コン	FUKUI COMPUTER HLDS INC.

出所: 東証データなどより大和証券作成  
 主市場は東1: 東証1部上場、東2: 東証2部上場  
 東M: 東証マザーズ上場、JQS: ジャスダックスタンダードを示す  
 (注) 銘柄名については、弊社データベースの制約により、途中までの表示となる銘柄がある

直近で堅調な  
小型株と  
新興市場銘柄

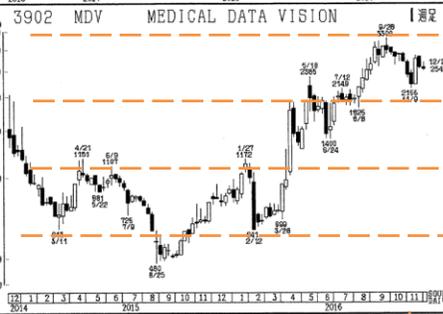
# 小型株や新興市場で直近堅調なリード役候補チャート

寿スピリッツ  
(2222)



フュートレック  
(2468:  
東証2部)

テクノスJ  
(3666)



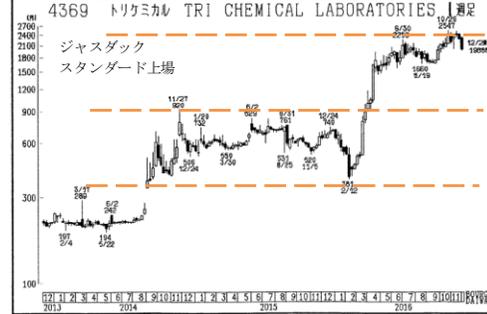
MDV  
(3902)

神島化  
(4026:  
東証2部)



ステラケミファ  
(4109)

トリケミカル  
(4369:  
ジャスダック  
スタンダード)



Jマテリアル  
(6055)

表示期間等はデータベースの制約による。  
出所：東京証券取引所データより大和証券  
作成

## 開示事項

### 【株式レーティング記号について】

株式レーティング記号は、今後12ヶ月程度のパフォーマンスがベンチマークとする株価指数の騰落率と比べ、以下の通り判断した事を示します。

- 1 (買い) =15%以上上回る
- 2 (アウトパフォーム) =5%~15%上回る
- 3 (中立) =±5%未満
- 4 (アンダーパフォーム) =5%~15%下回る
- 5 (売り) =15%以上下回る

各国におけるベンチマークは以下の通りです。

日本：TOPIX、米国：S&P 500、欧州：STOXX Europe 600、香港：ハンセン指数、シンガポール：ストレイト・タイムズ指数、韓国：韓国総合指数、台湾：加権指数、オーストラリア：S&P ASX200 指数

### 【利益相反関係の可能性について】

大和証券は、このレポートに記載された会社に対し、投資銀行業務に係るサービスの提供、その他の取引等を行っている、または行う場合があります。そのような場合には、大和証券に利益相反が生じる可能性があります。

### 【当社及び大和証券グループについて】

大和証券は、(株)大和証券グループ本社の子会社です。

### 【保有株式等について】

大和証券は、このレポートに記載された会社が発行する株券等を保有し、売買し、または今後売買することがあります。大和証券グループが、株式等を合計5%超保有しているとして大量保有報告を行っている会社は以下の通りです。(平成28年11月30日現在)

大末建設(1814) イチケン(1847) 高橋カーテンウォール工業(1994) アコーディア・ゴルフ(2131) ゲンキー(2772) ティーライフ(3172) 日本ヘルスケア投資法人(3308) ケー・エフ・シー(3420) 川田テクノロジーズ(3443) ケイアイスター不動産(3465) ビリングシステム(3623) コーエーテックモホールディング(3635) パピレス(3641) ディー・エル・イー(3686) ケイブ(3760) 神島化学工業(4026) セブテーニ・ホールディングス(4293) トリケミカル研究所(4369) ラクオリア創薬(4579) ノザワ(5237) 中山製鋼所(5408) 東邦亜鉛(5707) 東京製鋼(5981) リンクバル(6046) アライドアーキテクツ(6081) ウィルグループ(6089) 日進工具(6157) 鎌倉新書(6184) 平田機工(6258) タツモ(6266) 加藤製作所(6390) 三相電機(6518) ダブル・スコープ(6619) ミツミ電機(6767) アドバンテスト(6857) フェローテック(6890) エノモト(6928) 太陽誘電(6976) アストマックス(7162) GMOクリックホールディングス(7177) 大興電子通信(8023) マネーパートナーズグループ(8732) 大和証券オフィス投資法人(8976) 日本賃貸住宅投資法人(8986) セレスポ(9625) 帝国ホテル(9708) パーカーコーポレーション(9845) (銘柄コード順)

### 【主幹事を担当した会社について】

大和証券は、平成27年12月以降下記の銘柄に関する募集・売出し(普通社債を除く)にあたり主幹事会社を担当しています。

ヨシムラ・フード・ホールディングス(2884) 鳥貴族(3193) アクティブア・プロパティーズ投資法人(3279) SIA不動産投資法人(3290) イオンリート投資法人(3292) ヒューリックリート投資法人(3295) BEENOS(3328) トーセイ・リート投資法人(3451) ケネディクス商業リート投資法人(3453) サムティ・レジデンシャル投資法人(3459) ケイアイスター不動産(3465) 三井不動産ロジスティクスパーク投資法人(3471) 昭栄薬品(3537) 農業総合研究所(3541) コメダホールディングス(3543) デファクトスタンダード(3545) 串カツ田中(3547) パロックジャパンリミテッド(3548) ベネフィットジャパン(3934) グローバルウェイ(3936) シルバーエッグ・テクノロジー(3961) エイトレッド(3969) OATアグリオ(4979) インターワークス(6032) ファーストロジック(6037) リクルートホールディングス(6098) アトラエ(6194) イワキ(6237) リファインバース(6531) キーエンス(6861) ジャパンインベストメントアドバイザー(7172) 富山第一銀行(7184) リンガーハット(8200) イオンフィナンシャルサービス(8570) オリックス不動産投資法人(8954) 大和証券オフィス投資法人(8976) ジャパン・ホテル・リート投資法人(8985) 学究社(9769) (銘柄コード順)

### 【その他の留意事項】

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。レポートに記載された内容等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。内容に関する一切の権利は大和証券にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほか、為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号  
加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会